

島根大学医学部医学科カリキュラム・ポリシー（一部改正案）

1. 教育課程の編成の方針

1. 医学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するため6年間の段階的な一貫教育を通じて、医の倫理やプロフェッショナリズム及び、医師になるために必要な知識、技能、態度を身につけます。
2. 医学科では、ディプロマ・ポリシーに包含されるコンピテンスを定め、それぞれ具体的な到達目標がコンピテンシーとして設定されています。その到達目標を達成できるようカリキュラムが構築されます。
3. 医学科では、中核となる必修科目だけでなく、選択科目が豊富に設定され、自主性を重視した授業構成を医学科全体として行うことで、学生の学習意欲を刺激します。
4. 基礎科学、基礎医学、臨床医学を統合した学習を目指した、領域ごとの垂直-水平的統合を推進します。
5. アクティブラーニングを積極的に導入し、生涯にわたって共に学ぶ姿勢を涵養します。

2. 教育課程における教育・学習方法に関する方針

① 各学年次におけるカリキュラムの方針

1. 1年次には、「医療倫理・プロフェッショナリズム」、「行動科学」を含む教養育成科目のほか、基礎科目を履修し、豊かな教養を養うとともに、生命の尊厳や倫理観についての認識を深めます。また、医学部附属病院での早期体験実習を通じて、将来医師となるための動機付けを行います。「情報科学概論」や「数理・データサイエンス」にて、急速に発展するICT (Information and Communication Technology) にいち早く対応できる知識と技能を身につけます。また、「組織学」「生化学」「免疫学」といった専門教育科目も開始されます。
2. 2年次は、基礎医学系の「解剖学」「生化学」「生理学」「医科遺伝学」、臨床基礎医学系の「免疫学」「細菌学」など専門教育科目を履修し、臨床医学を修得し応用するための基本的な医学知識を修得します。
3. 3年次には、「薬理学」「病理学」「ウイルス学」「放射線基礎医学」といった臨床基礎医学系の科目に加え、「法医学」「医事法制」「環境保健医学」などの社会医学系の科目を修得します。また、学生自らが希望する講座で研究や臨床の基本を学ぶ「研究室配属」を実施します。この間、医学研究に対する理解を深め、研究に対する姿勢（科学的探究心・リサーチマインド）を身につけます。
4. 3年次から4年次にかけては、「医学チュートリアルコース」が開始されます。垂直-水平的統合の一環として、臓器別・系統別に17コースが設けられ、コースに関連する基礎医学、臨床基礎医学、社会医学を組み込んで、臨床医学への導入を学びます。また、自学自習の習慣や問題解決能力、主体性・リーダーシップ等の能力を身につけるために、PBL、TBL教育が行われます。

5. 4年次に、共用試験 CBT 及び医学系臨床実習前 OSCE (Pre-CC OSCE) を実施します。これらに合格すると、スチューデント・ドクターの称号が与えられ臨床実習を行うことができます。
6. 4年次末から6年次にかけて、診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)を72週間にわたり実施します。学生は指導医のもとで、医療チームの一員として責任と主体性を持って実際の診療に参加します。これにより、実践的な臨床能力及びコミュニケーション能力を身につけ、また、多職種連携、チーム医療や医療倫理・医療安全、患者医師関係など幅広く臨床医学の基本や態度を学びます。また、この間に、課題抽出能力や問題解決能力及び生涯にわたって自己学習・研鑽に励む能力を養います。
7. 臨床実習(72週)のうち、16週は総合診療・地域医療学、精神科神経科、産科婦人科、小児科の4つの診療科に関して4週連続の診療参加型臨床実習を行います。特に、総合診療実習のほとんどにおいて、島根県内の約20の地域医療機関の中から選択して、臨床実習を行います。それ以外の診療科は1週ずつローテートします。
8. 6年次には、内科系診療科3つ、外科系診療科3つの計6つの診療科(計24週間)を選択して、4週連続の診療参加型臨床実習を行います。また、4週間のフレキシブル実習として、県外や海外の医療機関での研修も可能としています。また、医学系臨床実習後 OSCE (Post-CC OSCE) を実施します。

② 6年間一貫したコース構築について

1. 1年次開講の地域医療学や、臨床実習内での総合診療・地域医療学では、地域医療への貢献についての動機付けを図ります。更に、全学年の希望者を対象に、地域医療体験実習を実施し、県内の医療機関で地域医療を体験します。
2. 英語教育は1年次から6年次まで6年間一貫して実施し、医学英語の基礎から実践的な語学力向上を図ります。また、選択科目として、「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」を設け、より高度な英語力の修得と異文化の理解を通じた国際的視野の涵養を図ります。海外の医療機関における実習に積極的に参加することで、国際性やグローバルな視点を身につけます。
3. また、学生が自主的に教員のもとで研究の基礎を学ぶ「医学研究の基礎」により、早期から研究について理解を深めるとともに、研究体験を通じて、科学的かつ理論的な思考力を身につけます。

3. 学修成果の評価の方針

島根大学医学部医学科では、以下の点について、アセスメントポリシーを定めます。

1. 定期試験等
2. 公的試験
3. 定期試験の受験資格
4. 成績の評価
5. 評価の基準
6. アンプロフェッショナルな行動の評価
7. 臨床実習の評価
8. シラバス
9. 追試験
10. 再試験
11. 成績評価の疑義
12. 点検と改善

また、評価の基準を科目ごとに定め、ルーブリック等を用いて態度、知識、技能を含む評価を形成的、多面的に行います。